

## 令和5年度 学校経営計画

はじめに

本校は、昭和49年に東京都教育委員会が全国に先駆け、障害のある児童・生徒の希望者全員就学を実施した年に開校し、創立50周年を迎える。これまで地域の方々の深い理解や御協力に支えられながら児童・生徒が生きる力を身に付け社会に巣立ってきた長い歴史がある。昨年度、新校舎が完成し新たなランドマークとして、次の50年に向けて築いてきた地域の力を最大限に活用しながら教育活動をさらに展開していく。

障害のある人もない人も互いに尊重し合いながら暮らしていける共生社会を実現するためには、これまで以上に障害者の自立と社会参加を促進する必要がある。令和4年3月に策定された「東京都特別支援教育推進計画（第二期）第二次実施計画～共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進～」に即して基本理念の「共生社会の実現に向け、障害のある幼児・児童・生徒の自立を目指し、一人一人の能力を最大限に伸ばして、社会に参加・貢献できる人間を育成」するため、小学部・中学部を設置する学校として地域の力を生かし「社会に開かれた教育課程」を実現していく。そのためには、教職員一人一人の専門性を向上させ、児童・生徒一人一人の実態に応じた教育内容を充実し、地域の障害のある児童・生徒に対する特別支援学校のセンター的機能を発揮していく。また、新型コロナウイルス感染症対策が緩和されることから、地域連携や交流活動を推進し充実を図る。

### I 教育目標

人間性豊かに成長することを願い、児童・生徒の障害の状態や心身の発達の段階に応じて、知性、感性、道徳心や体力を育み、調和のとれた発達を図る。

### II 目指す学校像

「子ども一人一人が人間性豊かに成長し、地域で暮らす力を育成する学校」

- 1 児童・生徒の可能性を最大限に伸ばし、学ぶ、暮らす力の向上を実践する。
- 2 保護者、地域、関係諸機関との連携を図り、地域に根ざした学校づくりを進める。

### III 目指す児童・生徒像

- 1 すすんであいさつのできる児童・生徒
- 2 意欲的に学習できる児童・生徒
- 3 積極的に活動し健康な児童・生徒
- 4 思いやりをもって友達と楽しく活動できる児童・生徒

### IV 中期的目標（3年）と達成に向けた方策

新型コロナウイルス等感染症防止対策の緩和に伴い、新校舎等の新しい学習環境を柔軟に活用し教育内容の充実を図る。学習指導では、小中一貫した教育の充実をさらに進める。ま

た、GIGA スクール構想に基づき配備された児童・生徒一人1台のタブレット端末等のICT機器を有効活用し、児童・生徒の力を最大限に引き出す教育を推進する。

**1 学習指導 分かる授業、できた喜びを感じられる授業の充実**

- カリキュラム・マネジメントの視点で、児童・生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導目標・指導内容の充実。
- 外部専門家と連携した指導内容・方法の充実
- 他の障害種別の特別支援学校と連携した重複障害への教育内容の充実
- 東京オリンピック・パラリンピック教育のレガシーの実現に向け、国際理解やスポーツと芸術文化活動の推進
- 矢口祭や校内掲示など学習成果の発表機会の充実

**2 生活・保健指導 安全・安心な教育環境と規範意識の充実**

- いじめ防止、体罰禁止の推進、教職員の人権感覚や意識の向上
- 規範意識の育成と社会貢献
- 笑顔の挨拶励行(教職員の率先励行)
- 組織的な保健指導の充実
- 外部と連携した給食指導の充実

**3 キャリア教育 自立・社会参加を捉えた教育の充実**

- 小中一貫性の指導 生活に役立つ4つの力を育成(あいさつ、一人通学、役割、掃除の力)
- 高等部につながる職業教育等の充実
- 地域連携を深めた作業学習の内容充実
- 地域資源を活用したインターンシップの充実

**4 研修・研究 全校的な専門性の向上**

- 授業公開等による授業改善(授業力のスキルアップ)
- 大学や専門家と連携し、障害種による学びの特性を理解した上での授業改善
- OJTによる授業力の向上
- 外部専門家を活用した教員の専門性の向上

**5 センターの機能 つながりをおお切にした特別支援教育の推進**

- 学校からの発信の充実(ホームページ、各種だよりなどの情報発信)
- 地域への社会貢献(児童・生徒・教員の地域への奉仕活動等)
- 介護等体験並びに地域大学等の実習の充実
- 福祉・医療・労働・区教育委員会等の関係機関との連携
- 小学校、中学校、高等学校との特別支援教育推進のためのセンター的機能の充実
- 学校生活支援シート(ことりのシート)に基づく児童・生徒一人一人への支援の充実

**6 防災・安全対策 危機管理体制及び緊急時の安全対策の充実**

- けがや事故の未然防止の組織的な対応
- 校内環境の整備
- アクシデント報告及び分析による事故防止による危険回避対策の充実

○地域と連携した総合防災訓練、帰宅支援ステーション、福祉避難所（障害者の二次避難場所）としての機能の充実

○ BCP（事業継続計画）の内容充実

#### 7 総合力の発揮と効率的な学校運営の推進

○教職員の心構え(もてなしの心、笑顔での挨拶は児童・生徒の手本、保護者、地域の方の意見の傾聴、課題の整理と迅速な組織的対応)

○課題を迅速に解決する組織(決定ラインの明確化、主体的な改善案の提案・実施、提案型の会議等)

○マネジメントサイクルによる学校校務分担の明確化と進行管理（PDCA）の徹底

○東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画に基づき、新校舎の課題整理

○環境美化と環境整備の徹底

○ライフ・ワーク・バランスの実現に向けた取り組み

### IV 今年度の重点目標と数値目標

<教育活動の目標と方策>

○授業内容・指導方法の充実、「社会に開かれた教育課程」の推進

○外部専門員との連携・充実

○新校舎における教育内容の充実と施設・設備の充実

#### ★学習指導 わかる授業、できた喜びを感じられる授業の充実

- 1 わかりやすい教育環境の整備(教室環境整備マニュアルの活用、学期1回の点検)  
(研修研究部、生活指導部)
- 2 個別の課題のリンクと連続性、個別課題の内容充実、個別指導計画への記載(明確な目標・手立て)
- 3 指導案・単元案の改善(アセスメントの記入、サブ教員の動き記入、待ち時間の指導内容充実と縮小)(教務部)
- 4 漢字検定の取り組み (漢字検定担当)
- 5 読書活動の年間計画作成 読書活動週間1回(司書教諭・全学級・教務部)
- 6 教材と単元(題材)集の各作成(ICT教材を含む)一人1点以上 (年度末校長室前掲示)  
教材開発室の内容充実と管理(研修研究部)  
教材デジタルライブラリーの充実 (教務部)
- 7 教員の専門性向上のための外部専門員とのアセスメントの実施 (年間80回)  
(研修研究部)
- 8 食育活動の推進 各学年1回以上食育授業実施 (栄養士、保健給食部)
- 9 東京オリンピック・パラリンピック教育のレガシーの実施に向けてのスポーツと芸術文化活動の推進と国際理解の充実(各教科等で実施)
- 10 矢口祭等における発表内容及び発表方法等を工夫した取り組み内容の充実 (総務部)
- 11 新校舎における水泳指導の計画的な実施 (体育科)

**★ 生活・保健指導 安全・安心な教育環境と規範意識の充実**

- 1 2 「一人通学の力」の向上を目指した通学マニュアルの活用と改善(生活指導部)
- 1 3 いじめ防止、体罰禁止を推進。いじめ防止・体罰禁止に関する委員会の実施  
(学校いじめ対策委員会)
- 1 4 外部講師を招聘して人権研修会の実施(研修研究部)
- 1 5 緊急時対応マニュアルの見直し(学校安全委員会・生活指導部)
- 1 6 笑顔の挨拶の励行(児童・生徒・教職員)、校内あいさつ検定の実施(進路指導部)
- 1 7 校内防災の日(3月11日)設定、毎月の避難訓練・安全点検の実施(生活指導部)
- 1 8 スクールバス保護者会2回、スクールバス乗務員研修1回以上、スクールバスコースの  
検討と改善(生活指導部)
- 1 9 SOSカード・ヘルプカード等の使用方法の指導(生活指導部)
- 2 0 学校保健計画及び「保険・給食指導の手引き」の活用推進・改善(年1回以上)  
(保健給食部)
- 2 1 学校保健委員会の内容充実・評価・改善(年1回以上)(保健給食部)
- 2 2 給食だよりの発行・内容充実(月1回)(保健給食部)

**★ キャリア教育 自立・社会参加を促した教育の充実**

- 2 3 小中一貫性のある指導 基本的な生活習慣を基盤とした指導  
生活に役立つ4つの力の育成(あいさつの力、一人通学の力、役割の力、掃除の力)  
標語の掲示(全クラス他)、個別指導計画への目標掲載(教務部)
- 2 4 外部専門員による清掃研修の実施(児童生徒、教員・保護者)
- 2 5 地域での販売実習実施(中学部 作業班)
- 2 6 矢口清掃校内検定の実施(中学部全学年)(進路指導部)

**★ 研修・研究 全校的な専門性の向上**

- 2 7 外部専門員と連携した授業内容・指導方法の充実並びに学習評価・改善の確立、校内研  
究発表会の充実(年1回実施)(研修研究部)
- 2 8 特別支援学校教員免許状取得率の向上(対象教員)
- 2 9 授業OJT体制による授業力の向上、アセスメント、授業7つの要素ワークシートを活用  
した指導案作成と全教員の公開授業、自己申告面接とのリンク(一人1回以上、参観授  
業1回以上)(研修研究部)
- 3 0 ICTを活用した安全で効率的な業務と児童・生徒一人一台配置のGIGAスクール端末  
を活用した指導内容・方法の充実(情報管理部)

**★ センターの機能 つながりをおこなった特別支援教育の推進**

- 3 1 ホームページの内容充実、更新30回以上(HP管理委員会、情報管理部)
- 3 2 新しい日常に応じた教員の学校地域・PTA等の交流活動、奉仕活動・地域行事等への参  
加(各連携1回以上)
- 3 3 学校生活支援シート(個別の指導計画)作成、支援会議(専門家・地域関係諸機関との連携・  
充実)の実施20回以上(担任、コーディネーター、主任教諭、主幹教諭、管理職等)
- 3 4 区教育委員会連携によるエリアネットワーク会議5回以上、巡回相談40件以上、講演・

出前授業 10 回以上(特別支援部)

- 3 5 副籍制度の充実と活用 (担任、特別支援部)
- 3 6 大田区教育委員会連携による特別支援教育の充実 (特別支援部)
- 3 7 「オープンフェスタ」の理解啓発事業参加 1 回 (特別支援部)
- 3 8 学校開放事業は、ボランティア講座・本人講座 4 回以上の実施 (特別支援部)
- 3 9 介護等体験並びに地域大学生受け入れ内容の充実 (総務部)
- 4 0 新しい日常に応じた学校見学・体験入学の受入 (特別支援部、教育相談部)
- 4 1 一日体験入学・入学説明会の充実と評価・改善 (年 1 回以上) (教育相談部)

**★ 防災・安全対策 危機管理体制及び緊急時の安全対策の充実**

- 4 2 物品の廃棄、整理整頓。 校内整備・廃棄年 3 回。(生活指導部・経営企画室)
- 4 3 学校安全委員会 8 回(防災教育推進委員会 2 回を含む)
- 4 4 地域・保護者との防災等に関する研修(生活指導部)
- 4 5 ヒヤリハット・アクシデント報告・分析による事故防止 (生活指導部)
- 4 6 安全指導日「事故・けが 0(ゼロ)DAY」の設定と「事故防止強化デイ」(毎月 17 日) 毎月各 1 回(生活指導部)
- 4 7 新しい日常に応じた地域連携と連携した総合防災訓練、福祉避難所開設訓練実施と BCP 充実(生活指導部、学校安全委員会、防災教育推進委員会)

**★ 総合力の発揮 組織的な対応と効率的な学校運営の推進**

- 4 8 OJT による業務遂行、マネジメントサイクルの活用による進行管理 (PDCA) の徹底、ミドルリーダーの育成 (管理職、主幹教諭、主任教諭、担当全員、経営企画室)
- 4 9 服務事故防止研修及び個人情報研修及び情報機器の整理・整頓、自己管理、点検月 1 回並びに毎週金曜日のクリーンデスクを徹底 (教職員全員、情報管理部)
- 5 0 東京都特別支援教育推進計画第 3 次計画に基づき、新本校舎の環境整備等検討 (学校経営会議)
- 5 1 教職員のライフ・ワーク・バランスに向けての取り組み・健康管理、組織的な学校運営を図る意識改革。閉庁日 5 日間及び定時退庁ウイーク (長期休業期間) の設定、水曜日定時退勤の推進(全員)
- 5 2 経営企画室連携による適正な予算執行の指針・四半期ごとの点検(経営企画室)
- 5 3 エネルギー使用量状況報告による節電等の実施 (電気、ガス、水道使用量等) (経営企画室・全教職員)
- 5 4 新しい日常に対応した校内環境整備 (全教職員)